

# 週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## 三重県漁業協同組合連合会

### 第70回通常総会

－6月26日(水) 三重県水産会館－



6月26日(水)、三重県水産会館において、三重県漁業協同組合連合会の第70回通常総会が開催された。

冒頭に挨拶した湯浅雅人会長は「水産業において、昨今の好景気の恩恵は感じられず、漁模様も外海で一部水揚げがあったものの総じて低調であり、それぞれの課題の改善に向けた取り組みが急務となっている。そのような情勢の中、政府により水産政策が抜本的に改革され、我々JFも明るく活力のある浜をつくる行動が求められており、本会としても、漁協の組織強化や浜プラン等の補助事業を活用した浜の活性化に努めていきたい。」と述べた。

その後の議事では、平成30年度事業報告や、2019年度事業計画など全9議案が諮られ、全て原案通り承認された。

## 香良洲漁協アオノリ研究会

### 農林水産大臣賞受賞・市長表敬訪問

－6月24日(月) 津市役所－



6月6日(木)に行われた、第69回浅海増殖研究発表全国大会において、農林水産大臣賞を受賞した「香良洲漁協アオノリ研究会」が、6月24日(月)、津市の前葉市長を表敬訪問し、受賞の報告を行った。

香良洲漁協アオノリ研究会は「香良洲地区漁業の構造転換をめざしたアオノリ養殖導入の取組」を発表し、三重県内では7例目、アオノリ養殖としては初となる農林水産大臣賞を受賞した。

受賞に対し、近藤会長は「なんとか頂くことができました。津市や県の水産研究所など、皆さんのおかげ。」と挨拶し、前葉市長は、「新たなチャレンジが水産業でなされている素晴らしい事実、実績を積み上げ香良洲の名産になれば。」と述べた。

**三重県漁業士会・三重県漁青連合同総会**  
**－6月25日（火）三重県総合文化センター－**



6月25日（火）、三重県総合文化センターにおいて、三重県漁業士会と三重県漁協青壮年部連絡協議会による合同総会が開催された。

両団体とも、平成30年度の事業報告や、2019年度の事業計画など全4議案について諮り、全て原案通り承認された。

また、総会後には、団体間の相互理解を深めることを目的とした合同研修会が開催され、漁協系統団体が、各組織の事業概要を説明したほか、田中吉兆漁業士（松阪漁協）より「スジアオノリ養殖導入のための試験養殖」、西村元裕漁業士（伊勢湾漁協）より「クロナリ養殖における作業の省力化機器開発」と題した取組発表が行われた。

**三重県水産多面的事業発揮対策協議会**  
**2019年度通常総会**  
**－6月21日（金）三重県水産会館－**



6月21日（金）、三重県水産会館において、三重県水産多面的事業発揮対策協議会の2019年度通常総会が開催された。

冒頭、服部弘会長（三重漁連常務理事）が挨拶に立ち、「環境保全に関する取組への関心が年々高まっている中、私たち漁業関係者の役割もますます大きなものとなっている。本事業が終了となる2020年度までに一定の成果をあげ、今後も何らかの形で事業を継続出来るよう関係機関に強く働きかけていきたい。」と述べた。その後の議事では、平成30年度事業報告、2019年度事業計画のほか、規約・諸規程等の変更として協議会海面事務局の移管が諮られ、三重県漁連に代わり、（公財）三重県水産振興事業団が新事務局として承認された。

**【主な予定】**

- 7月6日（土）  
赤須賀漁業祭り（桑名）
- 7月9日（火）  
三重県黒のり養殖研究会漁期反省会（松阪）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。